



★印の図版はすべて宮城県図書館所蔵の「環海異聞」写本より

年	1807	1806	1805	1804	1803	1802	1801	1800	1799	1798	1797	1796	1795	1794	1793	
文政12年(一八二九)	4月12日 左平、寒風で死去(70歳)															
文化11年(一八一四)	7月29日 津太夫、寒風で死去(70歳)															
文化10年(一八一三)	9月19日 善六、ゴロウニ事件解決交渉のロシア側通訳として箱館に上陸															
文化4年(一八〇七)	4月 大槻玄沢「環海異聞」を藩主の伊達周宗に呈上															
文化3年(一八〇六)	2月下旬 取り調べを終え漂流民4人、江戸を発ち故郷に帰る															
文化2年(一八〇五)	4月1日 多十郎、室浜で病没(36歳)	9月3日 儀兵衛、室浜で病没(45歳)	12月18日 漂流民4人、江戸到着	12月20日 江戸仙台藩邸で藩主の伊達周宗に謁見	12月25日 大槻玄沢、志村弘強、漂流民の尋問を始める	3月10日 漂流民4人、日本側に引き渡される	3月19日 ナジェージダ号、長崎を出航	10月20日 漂流民4人、仙台藩に引き渡され江戸に向かう	12月18日 漂流民4人、江戸到着	12月20日 江戸仙台藩邸で藩主の伊達周宗に謁見	12月25日 大槻玄沢、志村弘強、漂流民の尋問を始める	3月10日 漂流民4人、日本側に引き渡される	3月19日 ナジェージダ号、長崎を出航	10月20日 漂流民4人、仙台藩に引き渡され江戸に向かう	12月18日 漂流民4人、江戸到着	
文化元年(一八〇四)	3月27日 マルケサス諸島着	6月9日 カムチャツカ、ペトロパブロフスク入港	8月5日 ペトロパブロフスク出港	8月9日 善六、下船を命じられ当地に残る	9月6日 ナジェージダ号、長崎着上陸を許されず	11月17日 レザーノフ以下ロシア人16人と漂流民4人上陸を許されるも梅ヶ崎飯館に軟禁	12月17日 多十郎、自殺未遂	文化元年(一八〇四)	3月27日 マルケサス諸島着	6月9日 カムチャツカ、ペトロパブロフスク入港	8月5日 ペトロパブロフスク出港	8月9日 善六、下船を命じられ当地に残る	9月6日 ナジェージダ号、長崎着上陸を許されず	11月17日 レザーノフ以下ロシア人16人と漂流民4人上陸を許されるも梅ヶ崎飯館に軟禁	12月17日 多十郎、自殺未遂	
享和3年(一八〇三)	3月7日 漂流民13人、サンクトペテルブルグに向け出発	3月9日 佐太夫、清戒病のため落伍	4月上旬 銀三郎、ヘルミで病気のため落伍	4月26日 漂流民10人、ペテルブルグ着	5月16日 漂流民10人、アレクサンドル1世に謁見	6月17日 帰国を希望した儀兵衛・津太夫、左平・多十郎と通訳の善六、ナジェージダ号でクロンシュタット港を出航	7月4日 ナジェージダ号、デンマーク・コペンハーゲン着	8月13日 イギリス、ファルマス着	9月5日 カナリア諸島、テネリフェ島着	11月8日 ブラジル、サンタカタリナ島着	3月7日 漂流民13人、サンクトペテルブルグに向け出発	3月9日 佐太夫、清戒病のため落伍	4月上旬 銀三郎、ヘルミで病気のため落伍	4月26日 漂流民10人、ペテルブルグ着	5月16日 漂流民10人、アレクサンドル1世に謁見	6月17日 帰国を希望した儀兵衛・津太夫、左平・多十郎と通訳の善六、ナジェージダ号でクロンシュタット港を出航
享和2年(一八〇二)	7月22日 ロシア政府、世界周航船ナジェージダ号と僚船ネフアの派遣を正式決定(世界周航探検隊長兼通訳日修好使、艦長クルーゼンシュテルン)															
寛政11年(一七九九)	2月28日 船親父の吉郎次、死去	11月27日 若宮丸船主末沢屋平之丞、石巻神宮寺で七回忌を行い、供養碑を建立														
寛政8年(一七九六)	1月24日 儀兵衛、善六、辰蔵、イルクーツク着	3月 善六、辰蔵、洗札を受けロシアに帰化	5月上旬 佐太夫、左平、銀三郎、茂次郎、多十郎、オホーツク着	7月3日 吉郎次、津太夫、民之助、市五郎、八三郎、清蔵、巳之助、オホーツク発	10月23日 市五郎、ヤクーツクで死去	11月 佐太夫、左平、銀三郎、茂次郎、多十郎、イルクーツク着	12月 吉郎次、津太夫、民之助、八三郎、清蔵、巳之助、イルクーツク着	民之助、八三郎、洗札を受けロシアに帰化								
寛政7年(一七九五)	4月3日 ナアツカ出港	6月13日 漂流民15人、ナアツカ港到着	6月8日 船頭の平兵衛死亡													
寛政6年(一七九四)	5月10日 若宮丸アリュシャン列島の小島に漂着															
寛政5年(一七九三)	11月27日 若宮丸、江戸を目指し石巻出港	11月29日 若宮丸、塩屋崎沖で遭難														

※日付は和暦(旧暦)